

聴覚障がい

聴覚障がいは、音が聞こえない、または聞こえにくい状態をいいます。「ろう者」は、全く聞こえない人、「難聴者」は、少し聞こえる人です。「中途失聴者」は、言葉を身につけた後、聞こえなくなった人たちです。コミュニケーションの手段には、「手話」「筆談」「口話」「身振り手振り」などがあり、また声を出して話せる人と、話すのが難しい人がいます。聴覚障がいのある人全員が手話を使えるとは限りません。

耳からの情報が得にくいため、文字や図などの視覚(目)により情報を得ています。手話通訳や要約筆記などの支援を受けて社会参加しています。

困っていることを理解しましょう

外見からは分かりにくい障がいです。また、耳からの情報を得ることが難しいので、状況を判断できずに、途方にくれることがあります。

聞こえの程度はさまざまです。難聴者の中には、補聴器をつけてもはっきり聞こえない人も多くいます。耳元で大きな声を出されても伝わらないことがあります。

列車などの遅延や災害時の放送などが聞こえず状況を判断することができない場合があります。



筆談をお願いしても、面倒がられることがあります。

補聴器を着けている人もいますが、補聴器で音を大きくしても明瞭に聞こえているとは限りません。

耳元で大きな声を出されても伝わらないことがあります。



音声コード

